

健康医療研究会

Webinar

地域医療、在宅医療の基礎知識

—医療の上手な使い分け—



開催：09月20日（水）
日時：15時～17時



2023年08月24日

DF会員の皆様

健康医療研究会

代表世話人 江村泰一

健康・医療研究会では、各分野の専門家をお願いをして、これまで31回のセミナーを開催しお陰様で会員の皆様のご好評をいただいております。

さて、先般6月21日に会員間で健康医療に関して、自由に意見交換を行う場として「意見交換会」を実施し、お互いに活発な議論が行われました。（DFHPをご参照ください）

この意見交換会で会員間で関心が高かった問題は、会員の高齢化が進む中で、終末期の医療の具体的な形としての「訪問診療」「看取り」でありました。

今回は、このような問題に長年取り組まれ、深い造詣をお持ちの医療法人社団つくしんぼ会（東京都板橋区）理事長の鉦裕和先生をお迎えし、お話をお伺いしたいと思います。

鉦裕和先生は、外来診療から訪問医療・介護、さらに在宅看取りまで連続したサービスを提供できる医療機関として平成8年につくしんぼ会を設立いたしました。

日常診療では、患者に希望する生き様、死に様をさりげなく問いかけ、実現可能な形で寄り添うスタイルをとっています。押しつけの医療にならないように配慮し、薬物治療に依存しないのが信条。つくしんぼ会は医師、看護師、介護職、理学療法士、作業療法士、ケアマネージャーなど地域医療に必要な職種を揃え、患者が要介護状態になっても適切なサービスを受けて自宅での生活を維持できるよう援助しております。さらに自宅で最期を迎えたい方々への支援として在宅緩和ケアにも注力しており在宅緩和ケア充実診療所の指定を受けています。



鈺 裕和(たたら ひろかず)先生

医療法人社団つくしんぼ会(東京都板橋区)理事長

板橋区医師会在宅医会会長

島根県松江市出身。

1987年佐賀大学医学部卒業

1996年、外来診療から訪問医療介護、さらに在宅看取りまで連続したサービスを提供できる専門機関として「つくしんぼ会」を設立。

開催要領

開催日時: 9月20日(水)15時~17時

開催場所: ハイブリッド方式 DF事務所および Zoom Meeting Room

DF事務所での参加は、先着15名

演 題: 「地域医療、在宅医療の基礎知識ー医療の上手な使い分け」

講 師: 医療法人社団つくしんぼ会理事長

鈺裕和先生

参加費用: 2,000円

支払い 下記健康医療研究会の口座へお振込みください。

銀行名 三菱UFJ銀行

店番 084

支店 青山通支店

口座番号 普通預金 0352949

名義 一般社団法人ディレクトフォース健康医療研究会

ご入金は、セミナーの前々日の9月18日(月)までをお願いいたします。

参加申込みは、下記フォームより**9月17日(日)まで**をお願いいたします。

[第32回セミナー参加申込みフォーム](#)

<参考>過去の実施セミナー

1. 『老いることの意味』

2. 『認知症の基礎的理解』
3. 『尊厳死と安楽死』
4. 『新しいがん治療』
5. 『腰痛の基礎知識—原因・治療・予防—』
6. 『その肺炎 治す？ 治さない』
7. 『健康寿命とアミノ酸』
8. 『糖尿病と生活習慣あれこれ』
9. 『自律神経のしくみとその障害による疾患, 対処法』
10. 『笑いの健康学 ~笑って脳を活性化~』
11. 『認知症を受け入れよう!』
12. 『口からみた長生きの秘訣』
13. 『人生 100 年時代』を生き伸びるための運動器と運動の重要性』
14. 『百寿者の秘密』
15. 『医者の特リセツ—高血圧と脂質異常を中心に』
16. 『高齢者に多い泌尿器系疾患とその対策』
17. 『フレイル・サルコペニアと運動』
18. 『人生 100 年時代を生き抜くために—救急医療の正しいかかわり方を考えましょう』
19. 『マインドフルネス—自宅でできる瞑想と座禅』
20. 『今ならできる『エンディングノート作成』と『介護施設選び』』
21. 『お口の健康と全身疾患』

- 22.『健康長寿ガイドライン 12 か条策定の背景』
- 23.『臨床医から見た新型コロナウイルス感染症と医療現場の現状』
- 24.『高齢者うつを治す』
- 25.『アルツハイマー病の診断、治療の最前線』
- 26.『誤解だらけの腎臓病と透析治療』
- 27.『薬食同源一食による予防医学で健康維持を担う』
- 28.『自律神経を知って不調を治す』
- 29.『優しさを伝える技・ユマニチュード』
- 30.『高齢者の心理に分け入り、より豊かな今後の精神生活を探る』
- 31.『人間と感染症の長い闘いーポストコロナに向けて』